

平成21年度国土交通省水源地活性化調査事業

川治温泉“水のふるさと”
いきいき発見プロジェクト

事業報告書

目次

3 はじめに

4 事業概要（スケジュール）

各部会の報告

6 プログラム開発部会

7 ノルディックウォーキング導入について

9 食のメニュー開発部会

12 アンケート・集計結果

15 まち歩き・おもてなし部会

16 今後の課題

モニターツアー報告

17 モニターツアーのねらい・特徴・概要

18 行程表

20 アンケート記録

30 旅行商品化に向けて

シンポジウム報告

31 シンポジウムのねらい・特徴・概要・評価

今後の展望について

32 今後の展開・自己評価および反省点

メディア掲載

33 報道記事（新聞）

資 料

39 組織図・役員名簿

40 実行委員会規約

42 モニターツアー案内（プレスリリース）

43 モニターツアー配布資料

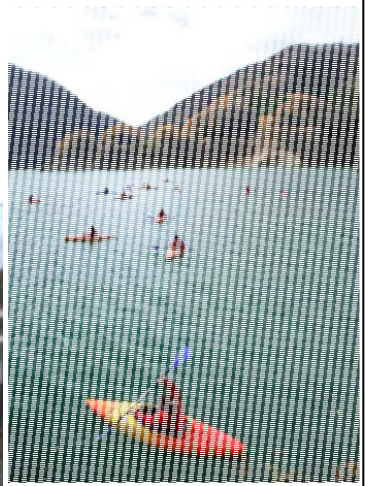
●はじめに ～本事業実施に至る背景～

世界遺産として名高い日光東照宮などの寺社仏閣や、華嚴の滝・龍王峡などの景勝地があり、また関東屈指の温泉地として多くの観光客が訪れている栃木県。その栃木県日光市の、鬼怒川上流部地域に位置するのが「川治温泉」です。鬼怒川の支流である男鹿川が温泉街の中心を流れる水と溪谷の自然豊かな環境にあり、古くから会津西街道を往き来する旅人や湯治客に親しまれています。首都圏からも近く、東武鉄道やJR鉄道により鬼怒川温泉まで乗り入れているので、アクセスも非常に良い立地の温泉地です。

しかしながら、長引く景気低迷の影響により、川治温泉の宿泊数は減少傾向にあり、同時に地域の過疎化と高齢化が深刻な問題となっております。

また、現在の川治温泉は温泉街の上流約1kmに国が管理する五十里ダムと川治ダム、下流に県が管理する小網ダムの大小3つのダムに囲まれ、広い湛水面を有する特有な環境に移り変わっております。

こうした現状を踏まえ、川治温泉ではこの多様な自然環境を活用した新たな温泉観光地として、地域が一体となって地域活性化に取り組む機運が高まり、この度、本事業の企画公募に応募する経緯となりました。川治温泉は本事業の選定を受け、新しく生まれ変わるための第一歩を踏み出しました。



本プロジェクトの概要 3本柱

1. 体験プログラム開発及び人材育成
2. 地産地消をテーマとした新しい“食”のメニュー開発
3. 温泉街の回遊性の向上と“おもてなし”の仕組みづくり

本プロジェクトに期待される効果

- 川治の水・温泉・自然・既存の施設(ハード)などの資源を活用した新たなソフト(商品)・コンテンツづくり
- 川治温泉の住民の意識改革
- 川治温泉独自の魅力を発信

本プロジェクト実施にあたり工夫した点

- 事業の報告をインターネットのブログで随時報告
<http://ameblo.jp/kawaji-project/>

●業務スケジュール

業務内容	8月				9月				10月				11月				12月				1月				2月				3月			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4				
	週	週	週	週	週	週	週	週	週	週	週	週	週	週	週	週	週	週	週	週	週	週	週	週	週	週	週	週				
全体会議		●			●			●		●			●	●			●		●				●		●		●					
体験プログラム開発及び人材育成																																
●体験プログラム開発＆人材育成部会						●		●		●	●	●		●																		
●地産地消食事メニュー開発(旅館・ホテル部会)				●		●		●		●				●																		
●地産地消メニュー開発(飲食店部会)				●		●		●		●				●																		
●まちの回遊性向上・おもてなし部会				●		●		●		●		●		●																		
モニターツアー								準備						●																		
シンポジウム														準備												●						
広報事業																					●	●	●		●		●	●				
報告書作成事業																											●	●	●	●		

各部会(ワーキンググループ)の報告①

体験プログラム開発(人材育成)部会

- 男鹿川、大下沢のフィールド調査 (9/10)
- 川治ダム湖、五十里ダム湖でのカヌー、カヤック調査 (9/24)
- ノルディックウォーキングコース調査 (10/9)
- 第1回ノルディックウォーキングインストラクター講習会 (10/12) 受講者20名
- 第2回ノルディックウォーキングインストラクター講習会 (10/30) 受講者17名
- ノルディックウォーキング体験会を実施(10/31)参加者14名
- モニターツアーでノルディックウォーキングと川治ダム湖でのカヤック体験を実施 (11/11-12)



男鹿川・大下沢フィールド調査(9/10)



川治ダム・五十里ダム湖でのカヌー調査
(9/24)



ノルディックウォーキングコース調査(9/10)

ノルディックウォーキング導入事業について

● 趣 旨

川治温泉では今後、“癒しと健康”をテーマとした温泉地づくりを目指す中で、県内でもいち早くノルディックウォーキングの導入に向けた取り組みを実施するため、本プロジェクトにて、人材(指導者)育成と、プログラム・コースの開発を進めていきます。

● ノルディックウォーキングとは？

ノルディックウォーキングとは、2本の専用ポールを使って行うウォーキングで、ヨーロッパを中心に人気が高まっています。ポールの使用により、上半身の運動が加わるため、通常のウォーキングと比較してエクササイズ効果が高まるっているほか、足腰の負担が軽減されるため、高齢者でも長時間歩行が楽になるなど、さまざまなメリットがあり、メタボリックシンドロームの解消・改善による生活習慣予防、介護予防などの面で大きな効果が期待できます。

また、専用ポールさえあれば、いつでもどこでも誰にでも手軽に行うことができ、「継続のしやすさ」という点でも非常に優れた運動です。

● 事業内容（イメージ）

ノルディックウォーキング指導者養成講習会（10月12日）体育の日

内 容	
机上講習	(1時間)
実技演習(基礎編)	(2時間)
実技演習(応用編)	(2時間)

指導者によるノルディックウォーキング体験の機会を提供

- ヘルスツーリズムのパッケージ型の旅行商品として
- 森林浴と合わせた健康と癒しの体験プログラムとして
- 高齢者の介護予防、リハビリとして

活動支援

プロジェクト推進協議会

ポールレンタル
指導者派遣
体験会実施
指導者養成

“癒し”と“健康”の温泉地として集客UPを図る





第1回ノルディックウォーキングインストラクター講習会
(10/12)



第2回ノルディックウォーキングインストラクター講習会
(10/30)



ノルディックウォーキング体験会(10/31)



各部会(ワーキンググループ)の報告②

“食”のメニュー開発部会

★旅館組合が中心となり、ホテル・旅館での新メニューの開発を検討。各ホテルの料理長が試作品を作成。

★飲食店組合が中心となり、川治ならではのB級グルメ等の開発を検討。

- 10/12(月)川治温泉のイベント『ふれあい秋の縁日』にて、試食会を実施。全8種をそれぞれ約150食分用意。当日は300名の来場者があり、100名からアンケートをとることができた。
- 11/11-12 で実施されたモニターツアーでも試食を行う。

山口料理長(柏屋)



写真左上:豆乳チーズケーキ
(川治の水で作った豆乳・おからパウダー・クリスタルゼリー)

写真右上:抹茶ババロア ~粒あん・生クリーム添え~
(栃木産小豆を使用した粒あん、北海道に次いで牛乳の生産量全国2位である栃木産の牛乳と抹茶を合わせたババロア)

写真左下:里芋のゆず味噌田楽
(地元産の里芋と自家製3年味噌と白味噌を合わせた柚子味噌仕立て)

千村料理長 (宿屋伝七)

写真右上: 深山御飯

材料: 舞茸、しめじ、銀杏、牛蒡、たたき生湯波、みょうがっ子、山葵、鼈甲飴

一口メモ: 京都の湯葉と日光の湯波との違いは、豆乳を煮詰めて表面の膜を一枚で引き上げた薄めのものが京都の湯葉で、二つ折にして厚めに引き上げるのが日光湯波です。湯葉と湯波で漢字も違います。山葵は日光藤原の釈迦ヶ岳の清らかな水で育ち、茗荷っ子は日光三依の名産です。



写真左下: 豆乳のパバロア

材料: どちらとみ(苺)、豆乳、那須御用卵、ゼラチン、グラニュー糖、生クリーム

一口メモ: 豆乳は川治の美味しい水と厳選された大豆と長年培われた技術により、健康飲料としても、地元の人に愛飲されています。

どちらとみを通年使用できるように、春先に採ったものを丁寧に一粒ごとに冷凍してから真空パックに入れて多目的に使用しています。

那須の御用卵は自然の中で放し飼いされ、漢方の独特な飼料で飼育された鳥の卵です。

原田料理長 (お宿東山閣)



写真右上: 八汐マス雲鍋

(材料: 日光産“八汐鱒”、高原大根、人参、平茸、なめこ茸、木耳、牛蒡、わけぎ)



写真左下: 牛ヒレ湯波包み

(材料: 栃木和牛ヒレ肉、日光湯波、三依産山葵)

飲食店組合



写真右下: 三色田舎まんじゅう
 左(黄色): かぼちゃまんじゅう
 中(茶色): いちごまんじゅう(とちひとみ使用)
 右(緑色): ほうれん草まんじゅう(鶏頂高原産ほうれん草を生地に練り込んだ肉まん)

写真左下: おからドーナツ

10月12日(体育の日) 川治温泉 ふれあい秋の縁日の様子

当日はおよそ300名の来場者があり、新聞・テレビ局の取材もありました。



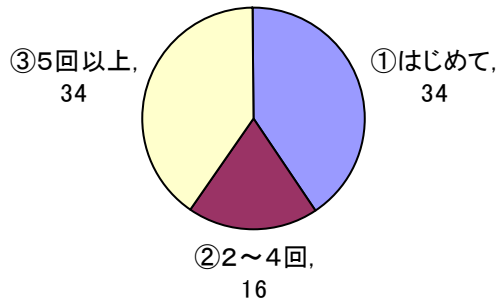
本日はご来場いただき、誠にありがとうございます。
アンケートのご協力をお願い致します。(該当するところを○で囲んでください)

Q9. どんな食材を使ったものが食べたいですか？ また、その他お気づきのことがございましたら、ご記入ください。

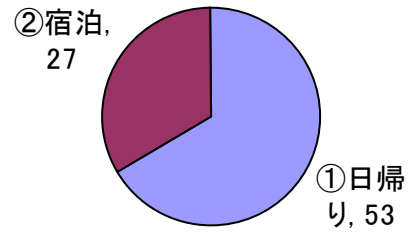
12

■ アンケート集計結果より

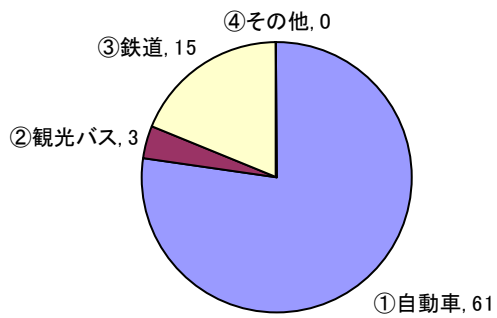
Q1.川治温泉に来たのは何回目ですか？



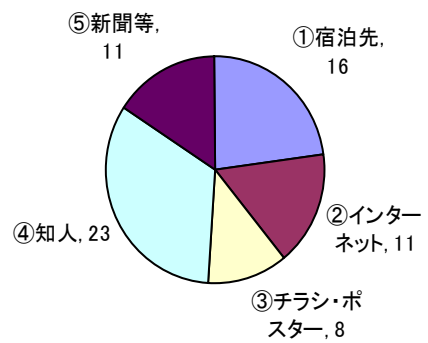
Q2.宿泊or日帰り



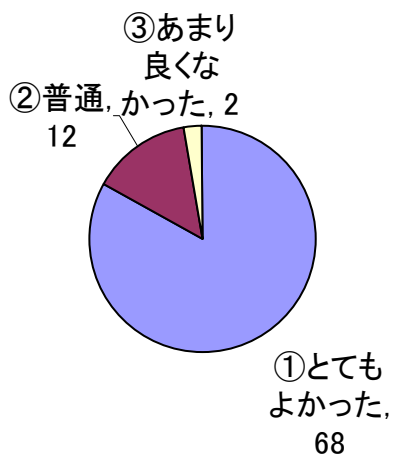
Q3.川治温泉までの交通手段は？



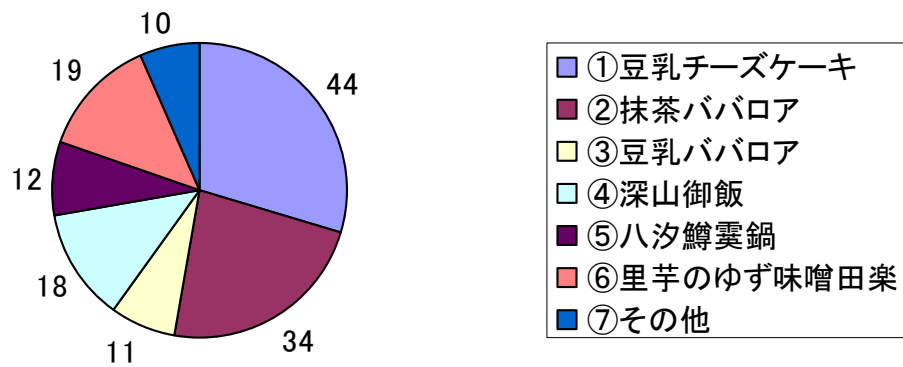
Q4.このイベントを何で知りましたか？



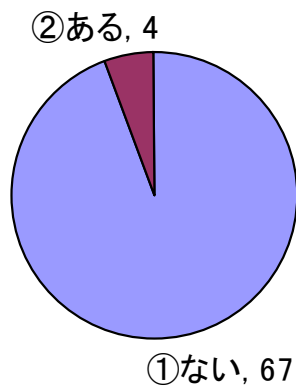
Q5.会場の雰囲気はどうでしたか？



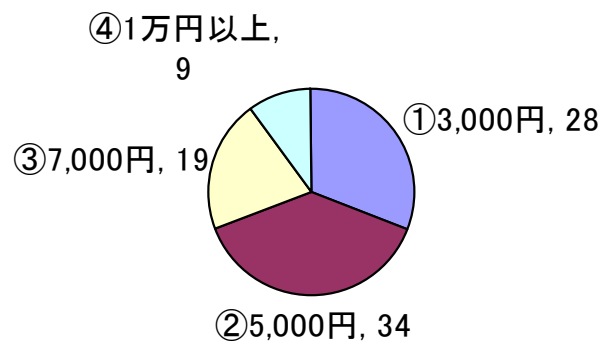
Q6.美味しかったものは？



Q7.お口に合わなかったものがありますか？



Q8.食事で贅沢したと感じる金額は？



各部会(ワーキンググループ)の報告③

まち歩き&おもてなし部会

- ★商店会が中心となり、川治の“水”で“お茶”を入れ、観光客におもてなしをするプロジェクトを進める。
お茶を出してくれるお店の軒先に下げる幟と縁台を作成。
- ★観光協会が中心となり、日光市の地域再生事業で設置した“道祖神”や“かわじい”のモニュメントを有効活用し、温泉街の回遊性を向上させるために、スタンプラリーのような形で“道祖神めぐり”を実施するプロジェクトを進める。



今後の課題

体験プログラム開発(人材育成)部会

- ノルディックウォーキングコースバリエーションの充実化
- ノルディックウォーキングコースマップ作成（カロリー表示）
- インストラクターの活用
- ダム湖の利用に関する協議会を立ち上げ、ルール（規範）づくりを進める
- 商品化できたプログラムの販売およびP R方法
- 商品化できなかったプログラムの再検討

“食”のメニュー開発部会

商品化させるために・・・

- 価格設定
- 販売方法等の検討
- 地元の協力（商品を扱ってくれるところ・商品を作る人材）
- P R方法

まち歩き&おもてなし部会

- 地元の協力（お茶を出してくれるお店）
- 道祖神巡りスタンプラリー等の作成
- 景観整備および条例の作成
- P R方法

モニターツアー報告

モニターツアーのねらい・特徴

①コアターゲットの設定

- 本プロジェクトでは、新たな試みとして『びゅーていふるさと。川治温泉』をコンセプトに30代～40代の女性をコアターゲットとした商品づくりを進めてきました。川治温泉と言えば、古くから湯治場として親しまれ、現在においても宿泊客の年齢層は中高年がその多くを占める中、ターゲットを絞ることは大きな賭けでもありました。しかし、川治温泉がこれから大きく変わるためには、今までとは違うところに目を向け、挑戦しなければ何も変わらないということで、敢えて30代～40代の女性をコアターゲットに設定しました。

②モニター(参加者)の設定

- 通常のモニターツアーは、一般からモニター(参加者)を募り、消費者目線で参加者からの意見を聞き、商品化に繋げるのが一般的ですが、私たちはいち早く商品化を進めるために、敢えてプロの目から見た厳しい評価やストレートな意見をいただこうと、大手旅行代理店をはじめ、マスコミ関係者、行政関係者を招待するような形でモニターツアーを実施しました。

モニターツアー 概要

■ 実施日 : 平成21年11月11日(水)～12日(木) 1泊2日

■ 集合場所(時間): 宿屋伝七(13:00)

■ 宿泊場所 : 宿屋伝七

■ 解散場所(時間): 川治コミュニティハウス(14:30)※予定

■ 参加費 : 無料 ※但し、現地までの交通費はご負担いただきます。

■ 内 容 (プログラム)

1. 紅葉を楽しみながらノルディックウォーキング(雨天:川治の名所めぐり)
2. 落ち葉のしおりづくり体験 又は パステルアート体験 ※オプション
3. 夕食(旅館・ホテルの料理長たちが地元の食材を使い考案した新メニューの試食)
4. 星空観察 ※希望者のみ(雨天中止)
5. 川治ダム湖で紅葉を眺めながらのカヌーツーリング&ダム見学

モニターツアー一行程表

11月11日（水）の行程

時 間	内 容	備 考
13:00～	集合・受付 会長挨拶 参加者紹介 ツアーの趣旨説明	場所:宿屋伝七ロビー 会場:宴会場
13:30～ 16:00	ノルディックウォーキング体験 コース:伝七⇒おなで石⇒平方山⇒河川遊歩道(道祖神)⇒高原荘跡地(足湯付き公園)⇒薬師の湯⇒ケヤキの木⇒あじさい公園⇒らんりょう裏⇒伝七 ※薬師の湯にて豆乳チーズケーキの試食。	※着替えを済ませた状態で駐車場に集合。
	チェックイン	入浴・自由時間
17:00～ 18:00	落ち葉のしおりづくり体験 パステルアート	会場:宴会場
18:30～	夕食・懇親会	会場:宴会場
20:30～ 21:30	星空観察 ホットワインでおもてなし	会場:川治小学校(バスで送迎)

11月12日（木）の行程

時 間	内 容	備 考
6:30～	早朝散歩(希望者はロビー集合)	コース:伝七裏～五十里ダム下
7:30～	朝食	
9:00～	チェックアウト(伝七駐車場集合) バスで移動	※カヌーができる服装で集合
9:30～ 10:20	川治ダム湖にてカヌー体験	※雨天時はダム見学ツアーのみ。
10:30 11:30	休憩(田舎まんじゅう試食) 川治ダム見学 バスで移動	休憩場所:川治ダム資料館
12:00～	昼食 (蕎麦+舞茸天ぷら)	会場:朝日屋
13:00～	アンケート記入、意見交換会	会場:コミュニティハウス
14:30	終了・解散 送迎(坂内)	14:47(鬼怒川温泉行)、15:27(浅草行)

★モニターツアーチラシ

川治温泉“水のふるさと”いきいきプロジェクト
モニターツアー参加者募集

【主催】川治温泉“水のふるさと”いきいき発見プロジェクト協議会

川治の旅が変わります。

川治温泉の奥座敷「川治温泉」では今年、国土交通省の地域活性化モデル事業の指定を受け「川治温泉」水のふるさと“いきいき”発見プロジェクト協議会が発足しました。協議会では観光、地域活性化、環境保全、自然体験、温泉、川治ダムなどという2つのテーマを軸とする水源地ならではの地域資源を活用した体験型観光ツアーの開発、構築を推進。

「びゅーいふるさと、川治温泉」をコンセプトに、30代～40代の女性をターゲットとしたこれまでになかった新しい観光ツアーを開発しています。

その一環として今回、秋の川治の水辺と紅葉をめぐる「モニターツアー」を開催するにあたり、モニター参加者を募集する運びとなりました。

2日間のツアー行程では、水辺を中心に川治の新しい風景や川治ならではの食、楽しみ方を体験していただく予定です。

これから、新しく、大きく変わろうとしている川治温泉、そして川治の風景、ぜひ、この機会にご参加ください。



実施日／平成21年11月11日(水)～12日(木) 1泊2日
集合場所／宿屋伝七(13:00)
参加人数／20名程度
対象者／旅行エージェント様・旅館組合関係者様・
行政関係者様・報道関係者様(テレビ・新聞・出版・ラジオ・インターネットなど)
参加費用／無料
主催／川治温泉“水のふるさと”いきいき発見プロジェクト協議会

内 容

- 紅葉を楽しみながらノルディックウォーキング(雨天：川治の名所めぐり)
- 落ち葉のしおりづくり体験又は、バスステルアート体験
- 試食会(旅館・ホテルの料理長たちが地元の食材を使い考案したメニューの試食)
- 川治ダム湖で紅葉を眺めながらカヌーツーリング&ダム見学

行程表

時 間	行き先・行動など	備 考
11日(水)	13:00～ 宿屋伝七集合・オリエンテーション ノルディックウォーキング体験 ※森林科とノルディックウォーキングの指導について説明 休憩給「星の湯」にて地元産材を使った 豆乳チーズケーキの試食	ご挨拶、ツアーの諸説明、スタッフの紹介 雨天時：川治の名所案内 (乗りこえする公園や遊歩道など、新しい場所を案内します)
13:00～16:00	宿屋伝七(チェックイン)	入浴・自由時間
17:00～18:00	落ち葉のしおりづくり体験 or バスステルアート	
18:00～20:00	夕食 地産地消メニュー (地元産材を使い考案したメニュー、季節により変動)	12日のインフォメーション
20:30～21:30	星空見学(自由参加) ※星空観望はご用意ください。	
12日(木)	6:30～7:00 早朝散歩(自由参加)	
8:30～	朝食	宿屋伝七
9:00～	チェックアウト・駐車場集合	バスで移動
9:30～11:30	川治ダムにてカヌーツーリング ダム見学ツアー ※体験型に地元産材を使ったお土産(お土産はご用意ください)	雨天時はダム見学のみ
12:00～	昼食 ※川治の水を使った蕎麦と地元産材の天ぷらの試食。	
13:00～	アンケート記入、意見交換、ツアーの印象など	
14:30	終了・解散	ご挨拶

【モニターツアーへの参加申し込み、お問い合わせ先】
川治温泉“水のふるさと”いきいき発見プロジェクト協議会 (担当：堀内剛正)
TEL.0288-78-1177 FAX.0288-78-1178
E-mail: kawa@jspa@gmail.com



モニターツアーの様子



モニターツアーの様子



モニターツアー アンケート記録簿
■は女性 ■は男性の意見となっております。

Q 1. 今回のモニターツアーに参加する前に持っていた川治温泉のイメージ（印象）をお聞かせください。

- ・ “隠れ里” だが、湯西川よりも上品なイメージ。
- ・ 鬼怒川の奥にある秘湯、といったようなひっそりとしたイメージ。
- ・ 自然が多い温泉地、コロッケ、ダム。
- ・ 高齢の方々が宿泊するエリアのイメージ。
- ・ 鬼怒川温泉の奥座敷、秘湯。
- ・ 鬼怒川温泉の“動”に対し、“静”のイメージ。
- ・ 温泉・湯めぐり・鬼怒川温泉から 30 分・川治ダム・静かな環境と自然。
- ・ 古い温泉場・湯が良い（湯治的な感じ）
- ・ 単なる一つの温泉地（鬼怒川や湯西川と同じ）として考えていた。
- ・ 鬼怒川の奥座敷、鬼怒川と比較される地域、小規模な温泉地。
- ・ 温泉・紅葉・川治ダム・コロッケ・地域再生（地域が一つにまとまって頑張っているものの、今一つ特徴が見えてこない感じがした。
- ・ 鬼怒川温泉の奥、派手さはないが、落ち着いた雰囲気。
- ・ 落ち着いたとても静かな温泉街、紅葉がきれい。
- ・ 温泉（湯治場）、のどかなイメージ、ロケーションの素晴らしさ。

Q 2. ノルディックウォーキングについて、今後どのようにプログラム化（商品化）を目指せば良いか、ご意見をお聞かせください。

- ・ 川治小学校跡地での体験メニュー（食関連）と組み合わせた散策プログラムもしくは、ヨガや湯治など、他の健康増進メニュー（美容系）を組み合わせた本格的体験。
- ・ ランチと組み合わせてみたら、より楽しいかと思いました。（ノルディック⇒湯めぐり⇒旅館や飲食店でランチ）
- ・ ご高齢の方にも可能かつ、全身運動になりリハビリにもなるということなので、もっと広めていただき「1泊2日で健康になるツアー」のような売り方がいいのかなと思います。また、女性には美しくなれる、シェイプアップ効果など売りにできると思う。
- ・ コースの整備（初級～）、定期的なツアー
- ・ 健康とガイド付の個人で参加できる内容にしていればよい。
- ・ 早起きの中高年向けの宿泊客に対する案内。企画商品内でどのような効果があるのかを記載して川治温泉内の共通プログラムにする。
- ・ 平坦な初級から、ハイキングコースまで、段階にあわせてコースを設定する。ヘルスツーリズムの目線では、各コースでの消費カロリーをコースマップに記載する。体験後には、汗を流すのと代謝効果のため、共通入浴券を1枚セットにする。
- ・ 早朝またはチェックイン～17:00の時間帯で60分ぐらいの時間で実施。無料または500円程度。
- ・ 早朝ウォーキングとして30～40分で完結する程度が良いと思う。（幅広い年齢層を対象にした型がベスト）、本格的なノルディックを目的としたツアーとしては、別に企画すればよい。

- ・ 指導者の方が各宿やお店にいて、希望者を集めたガイドツアーができると良い。
- ・ 参加させる「きっかけ・動機づけ」が必要。例：1泊2日の健康チェックプログラムの中の一つのメニューとして。
- ・ 新緑、紅葉時期をはじめ、年間を通して誰でも手軽に楽しめるので、発地側でもっとPRすべきだと思います。用意（服装等）や効果を示せば、オプションとして十分売り出せると思う。
- ・ 国はH20年より、メタボ対策として特定検診、特定保健指導を行い、成人病の重症化を未然に防ぐ対策を行っているので、健康増進を前面に出す。
- ・ 仕事をリタイヤした60歳代以上の人でも簡単に参加できるコース作りや仕組みを作ればよいと思う。
- ・ 川沿いの景観整備、安全面の確保。

Q3. 今回のプロジェクトで開発したメニューについて、ご意見をお聞かせください。

① 豆乳のチーズケーキ

- ・ 豆腐そのものすぎる気がする。おからパウダーは他のお菓子にも使えそう。
- ・ 豆乳の味が濃くてとても美味しかった。おからパウダーが香ばしくてgood!
- ・ 甘さ控えめで美味しかったです。ソースなどで彩りがあっても良いかも。
- ・ 水・豆腐ともにアピールできると思う。
- ・ 食感、味はチーズケーキそのものの、後味が甘すぎず、男性にも好評だと思います。
- ・ 見た目は豆腐のような感じだが、食べてみてギャップに驚いた。
- ・ 女性が喜びそうなデザートだと思います。
- ・ 各旅館でウェルカム（歓迎）ケーキとして出して欲しい。
- ・ そのままでもおいしいのですが、自由につけることのできるジャムなどがあると良いと思います。お子様にはなじみにくいと思いますので、検討をお願いします。
- ・ 見た目は豆腐ですが、味はグッド！ すぐにでも商品化すべき。
- ・ 豆腐の味は良い。もう少し生地がなめらかになると、なお良いと思います。
- ・ 豆乳の味を感じられてとても美味しかった。価格設定が気になります。
- ・ とても美味しい。なぜ豆乳なのかを明確にうたって、提供の仕方を工夫されるとよい。

② 八汐鱒の燗鍋

- ・ 鱒の存在感が突出している。もっとみぞれがたくさんあれば良い。
- ・ ダシがとてもおいしかった。八汐鱒の説明があると、なお良いと思います。
- ・ 美味しい出汁が出ていて、鱒からあんな出汁が出ているとは思いませんでした。
- ・ 季節によってバリエーションがつけやすいと思う。
- ・ 地元の食材をふんだんに使っているのがよく分かり、風味もよく、美味しかった。
- ・ けんちん汁の感覚で食べたが、おいしかった。
- ・ 雑炊のような形か、あんかけのような形でご飯と合わせてもよい。
- ・ 鮭に似ている。味はコクがあって良。
- ・ 八汐鱒がとてもおいしく、一品料理として十分。
- ・ 鮭より濃厚な味わいがした。

③ 深山御飯

- ・ ご飯そのものが美味しかった。見た目、あんをかけるアイデアは楽しいが、実際に食べた感想としては、あんが薄いので味が微妙。
- ・ あんをかけることで、よりふわっふわになり、ネーミングの通りイメージしやすく期待を裏切らない味でした。
- ・ あんをかけるといった発想がおもしろかったです。量が丁度良い。
- ・ 他の料理とのバランスもよく、色合いも良いので、目でも楽しむことができた。
- ・ 食事の締めにはいいメニューだと思います。
- ・ 白飯との違いがあり、インパクトはある。あんはもう少し味が濃くてもよい。
- ・ 食べ方を間違え、別々に食べてしまったが、個人的にはあんかけにするのはあまり好きではない。

④ 豆乳のババロア

- ・ 豆乳好きには良い。
- ・ 豆乳の味が強くておいしかった。とちひとみがとても甘くてびっくりした。
- ・ 甘さ控えめで、カロリーが少なく美味しくいただけるのが嬉しいです。
- ・ チーズケーキとかぶるので、どちらかでよいのでは。
- ・ チーズケーキ同様、甘すぎず食べやすい。
- ・ 各旅館のデザートの一品として提供して欲しい。
- ・ チーズケーキの方が良かった。あまり特徴がなかった。

⑤ 田舎まんじゅう

- ・ 中の肉あんがみっちりしていてお得感がある。
- ・ ホウレン草の味が甘くて、中にあんこかと思ったら肉が入っていて美味しかった。まんじゅう＝あんこのイメージを良い意味でひっくりかえしてくれるメニューだと思います。
- ・ ほうれん草が入った皮が甘めで、肉まんのように美味しかった。
- ・ 見た目、味ともに良かった。あとはネーミング次第。“かわじいの〇〇まんじゅう”みたいな。これを食べると〇〇というストーリーをつける。
- ・ 金額次第だと思います。
- ・ ほうれん草を練りこんだ皮の部分の風味が良かったです。
- ・ ボリュームもあり、味も良かったと思う。旅館のお茶菓子用に小さいサイズも製作してみてください。女性ウケは大きいの1つより小さいの3つだと思う。
- ・ 名前を変えては？（かわじいまん・ほうれんそう肉まん等）
- ・ B級グルメとして、川治の名物とした方が良い。
- ・ とても美味しいと思います。名称について何か考えられるとベストだと思います。
- ・ 皮とよく合った具材で美味しい。すぐにでも商品化すべき。
- ・ ほうれん草を感じさせないが、もう少し入れても良いのでは？
- ・ 皮に甘みがあり、美味しくいただきました。200円以下であれば手が出しやすい。
- ・ 見た目以上に美味しかった。地産品を使ってバラエティを増やすとよい。

Q 4. 今後、川治温泉を PR するためには、どんな食材やメニューが合うと思いますか？
(今後の新メニュー、商品開発に向けてのアドバイスをお願いします)

- ・ スイーツを何点か増やして、全 5 種くらいでスイーツめぐりができたら楽しそうです。
- ・ やはり“山”が売りだと思うので、自然で素朴で健康になれるメニューが良いと思います。
- ・ そば粉を使ったメニュー
- ・ 2 人で来たときにそれぞれ違う内容を出せばいいと思う。ヘルシーメニュー。
- ・ 今回の夕食メニューに関しては、地元の食材を利用した料理ということで、野菜を中心としたメニューだったので、中高年向けには非常に良いと思います。ただ、もう少し下の年齢の方に対しては、もう少しボリューム感のある肉料理や他のメインディッシュがあつたら良いのではと感じました。
- ・ この地域では野菜が非常においしいということなので「野菜カレー」など、子どもからお年寄りまでが食べられて、野菜そのものの味が楽しめるメニューが良いと思います。
- ・ 季節限定の豆腐やコロッケをもっとアピールすべき（日光の旅館には湯波があたり前のように）
- ・ 川治のおいしい水、豆腐のお土産化。
- ・ 水の食材（蕎麦・デザート・豆腐など）を中心としたメニュー。
- ・ 四季のある食材、通年の食材、川治の全旅館共通のメニュー。
- ・ 海ではなく山のメニューで全体を作る。
- ・ 水をテーマとしたプロジェクトでもあるので、八汐鱒と豆腐・豆乳を使った料理はいいと思います。
- ・ 豆乳を使ったメニューの商品価値は高いと思います。川治に来なければ味わえないものなどを膨らませていけばよいと思います。
- ・ 豆乳を使ったスイーツめぐりができると面白いと思う。また、ダムをモチーフにした商品開発（水上温泉のダムカレーのようなもの）をしてダムマニアに注目されるようになると、ダム観光の新しい客が呼び込めるかもしれない。
- ・ 洋風メニューの開発

Q 5. 星空観察について、今後どのようにプログラム化（商品化）を目指せば良いか、ご意見をお聞かせください。

- ・ 星空は特に限られた人ではなく、ほとんどの人が見たいと思えるものなので、家族連れ、カップル、ご年配の方全員に薦められると思います。雨天時に何か代わりになるものができるといいと思います。
- ・ 週末または連休、特別な流星群などが見れる時期などに絞ってツアーを組んでみては。
- ・ ワンコイン（500 円）などでオプションとして、チェックイン時や企画商品内に入れて事前予約を受ける体制を作る。
- ・ 時間を決め、旅館組合の共同でバスを出す。10 分間、該当以外の電灯をできるだけ消す。周辺にホテルを放し、雨天でも会場を利用できるようにする。
- ・ マットや敷物持参での見上げながらの星空観察など望遠鏡以外でも楽しめると思います。
- ・ 参加者の身近な訪題となる季節感のあるプログラム。

- ・ 夜景の素晴らしいシチュエーションで、観察プラスα（コーヒーを飲みながら川治の星にまつわるストーリーを語る etc）
- ・ ガイドによる星空解説を行ない、天体望遠鏡で実際に間近で観てもらうなど、ただ観るだけではない工夫を入れる。雨天の場合の対策も考える。

Q 6. カヌー体験について、今後どのようにプログラム化（商品化）を目指せば良いか、ご意見をお聞かせください。

- ・ ノルディックウォーク、湯治入浴と組み合わせた 体リフレッシュ（デトックス）プログラムとして。
- ・ 旅館+カヌー+電車でツアーを組み込めたらと思います。グリーンシーズン～秋まで長い期間楽しめるのが良い。
- ・ アウトドアスポーツをガッツリやりたい人、ちょっとだけ体験したい人と思うので、色々なチョイスが組み合わせやすいと嬉しい。
- ・ 事前準備がなくてもできる（当日予約）ように。ダム見学ツアーと合わせて行うとよいのでは。
- ・ すぐに乗れる手軽さ、安全を出し、個人対応ができればよい。
- ・ 主にグループ旅行のお客様に対して、川治温泉内で 2 日間滞在してもらう為に、宿泊とセットでの売り出しや、チェックイン時に案内して安定した集客をする。
- ・ あらかじめコースとそのポイントの告知が必要です。初心者でも気軽に体験できる部分は、レクチャーを受けている絵を入れながら、パンフレットで告知する必要があると思う。
- ・ 夏休みを中心に、グリーンシーズンにての実施。極力低価格にて。
- ・ 夏休み商品「親子ふれあいクラブ」みたいなタイトルで商品化を提案したい。
- ・ 体験としては面白いが、費用面とダム利用の検討が必要だと思います。
- ・ まず、転ぶことへの不安感を、言葉でなく身体で実感させる。実際に水に浮く前に、浅いところで揺れ具合やパドルの使い方を実感させてから本格的に湖へ出る。
- ・ 手軽にできることを売りに、宿泊した次の日のオプションとして。
- ・ 初心者に関心をもってもらうか、素通りしている人はたくさんいる。
- ・ 誰でも簡単に、普段着のままでも参加できることをもっと PR する。カヌー単独ではなく、ダム見学と組み合わせると良いのでは？
- ・ 季節ごとに見どころのピックアップ。

Q 7. ダム見学ツアーについて、今後どのようにプログラム化（商品化）を目指せば良いか、ご意見をお聞かせください。

- ・ 川治湯元駅からのノルディックウォークでの見学ウォークや、ダム写真講習などと組み合わせることが可能だと思う。（風景・鉄道など、写真対象は多いので、愛好家は集められそう）
- ・ ツアーにするなら、放水のタイミングを狙って、必ず放水シーンが見られたら良いと思います。ガイドさんが付かなくても、観光客だけで観てまわれるルートがあれば、立ち寄りやすくなると思う。NG ならボランティアガイドを付ける。
- ・ ダムマニアと言われる人も多いので、ぜひ今日見たコースを一般の方にも見られるようにして欲しいと思います。私はダムに興味はなかったのですが、見てみると迫力があり、驚きました。
- ・ 道の整備、ガイド付きのツアーを定期的に行う。

- ・ ガイド付きで個人対応ができれば良い。
- ・ 教育旅行、社員旅行ともにターゲット対象となるので、環境とダムに関連などを分かり易くしたパンフレットなどを作って商品化をする。他のツアーと同じ料金設定をして選択してもらうような設定にする。
- ・ キャットウォークや発電機など、普段見ることができない部分を覗けることが必要。エレベーターで上り下りするだけでなく、今回のように遊歩道を加えてみると、大きさが実感できます。早朝またはチェックイン～17:00 ぐらいまでの時間帯で、宿泊旅館から送迎付きにて所要時間 60～70 分ぐらいで料金は 1 人 1,000 円ぐらいでは。
- ・ 湯元駅～ダムまでの遊歩道は新しい名所になると感じた。これとノルディックを組み合わせても面白い。
- ・ やはり、安全面から職員の方やガイドの方の同伴が良いと思われます。風景は素晴らしく、非日常体験を売りにすることができると思います。
- ・ やはり“下から見上る”がコンセプト、と同時に“近くで見る”（キャットウォーク等）もポイント。今回の案内文のように「方水量 1 秒で 25m プール満杯」など、身近なものの例えで理解しやすい案内がポイント。
- ・ 遊歩道が整備された後は、半日コース位でウォーキングとダム見学ができるプログラムになると思います。特に最近は巨大工場等がブームなので、ダムを真下から見上げる感動は大きい。
- ・ 普段立ち入れない場所に入り、近くでダムを見られるのは魅力的。一方で、遠くからダム全体を眺めたい。あまり知られていまいとっておきの場所等があれば。
- ・ 安全性を確保した上で、ダム湖の散策やダムを真下から見上げる見学コースを入れれば、新しいダム観光ができるのでは？
- ・ 歩道の整備

Q8. 今回参加してみて、川治温泉はどういった層をターゲットにすれば良いと思いますか？（例：30～40代女性など）

- ・ 少し年齢のいった両親と子供。「家族旅行リバイバル」のような型と一緒に体験をしたりするのも良いのではないかな。後は父子旅行も合っていると思う（50～60 代親と 20～30 代子供など）。学生グループ（カヌーやノルディックウォークを手ごろな値段で）
- ・ 健康に気を使い始める 30 代～が良いと思います。
- ・ 20 代～40 代女性（グループ）と 50 代以上の夫婦、友人かなと思います。20 代～40 代はアクティブにアウトドアスポーツにも参加でき、美しくなるということに目がないと思うので、暖かい時期には自然の中で“ヨガ”を朝できたら嬉しいです。
- ・ 電車を利用するお客様
- ・ 実際は 60 歳以上。体験を重視するのであれば、20～30 代女性。
- ・ 宿泊のみ（40～以上男女）。宿泊＋体験（30～以上男女）
- ・ 体験は費用がかさむので、社会人 5 年目～ファミリー前のお金と時間が比較的自由な世代
- ・ ボリュームゾーンである 50～60 歳女性。また、夏休み期間限定でカヌー体験、創作体験等を中心にしたファミリー層をターゲットとした商品作り。
- ・ 団塊の世代と中高年女性と健康をキーワードにした誘客。
- ・ 小中学生（学校跡地を利用した自然学校）。40～50 代男女（健康志向のプログラ

ムと料理)

- ・ 連泊パターンの壮老年層。そのための“滞在”への環境整備。昼の散歩道や 2・3 h の観光ルート。
- ・ ノルディックウォーキング・カヤック：30～40 代男女、家族連れ。ダム見学：30～40 代男性。
- ・ カヌー体験：30～40 代。ノルディックウォーキング：30～60 代
- ・ 40 代以上の女性小グループ。60 歳以上の夫婦又はグループ。
- ・ 新たなチャレンジとして 30～40 代女性を狙いたい。

Q9. 今回参加してみて、川治温泉のイメージは変わりましたか？

- ・ 変わった。思った以上に鬼怒川・湯西川と違うことが分かった。特に水辺の近さが非常に印象的。また釣り客が多いというのも意外だった。眺望の良いところも多い（自然・人工物ともに）ので、巡ってみてとても楽しかった。また、地元の方の一体感も実は意外でした。若い方が積極的であることも。
- ・ 旅館・町・地元の人など、職種を問わず「川治の人」として皆で協力し合って温泉地の PR・開発に努力されている姿にとっても心がうたれました。景色も素晴らしいのでもっともっとうち出して行きたいと思います。
- ・ 今までは車で通って、旅館さんに行くというだけでしたが、こんなに美しい自然や体験ができる場所だとは思いませんでした。
- ・ 地元の人が思っている以上に外部の人は良いところだと思ってきているみたい。
- ・ 体験メニューがあれば変わる気がする。
- ・ 狭いエリア内で川やダムなどがたくさんあり、場所によって全く違う光景になり、まだまだ何かあるんじゃないかと思いました。
- ・ まだまだ色々な資源が眠っている。
- ・ 景観の良さ、遊歩道等の開発。
- ・ 個人的にもう一度行ってみたい温泉地となった。
- ・ 変わりました。観光関連だけでなく街全体で取り組む姿は素晴らしいと思います。
- ・ 変わりました。やはり“川”が今まで忘れられていたので、川をメインとした景観散策道の整備が必要。
- ・ 川を中心に歩くといろいろな発見があり、楽しさがわかりました。
- ・ 「温泉地＝高齢者の憩い」のイメージでしたが、30 代でも十分に楽しめました。
- ・ 商品化されていない魅力や観光素材がたくさんあると思った。別の角度から川治温泉を見て、イメージが大きく変わった。
- ・ 素材はあると思うので、アクティブ系の客を囲い込んでも良いのでは。

Q10. ズバリ、川治温泉に足りないものは何だと思いますか？

- ・ 食の魅力と温泉の生かし方が不足しているのではないかな？食については、水・豆腐が売りというが、差別化が非常に難しい品であると思う。あとは温泉。豊かなお湯があるのであれば“あるがまま”を見せてアピールした方が良い。川の両岸に渡された“温泉パイプ”、あれはなかなか壮観だった。
- ・ 散策 MAP や、カヌー・ノルディック・ベンチ&お茶が飲める所・道祖神など、取り組みの冊子が今後必要だと思います。旅行エージェントと組んで商品として出していく⇒広く知ってもらう必要がある。

- ・ 知名度。良いものは沢山あるのに、知らない方が多いと思います。もっとアピールできたら、沢山のお客様がいらっしゃると思います。PR が重要だと思います。
- ・ 若い人向けの施設。要らない気もしますが・・・。
- ・ 温泉地内の地元のお店が観光客向けの PR ができていない印象がありました。数を増やす必要はないと思うので、今ある姿でもっと PR して旅館と地元のお店が発展していく方向へいくようにして欲しいです。
- ・ 告知の方法。ハイキングコースも龍王峡ハイキング以外はあまり知られていないので、情報マップなどを使ってうまく告知をした方が良いと思う。
- ・ 知名度。テーマパークなどの観光施設。
- ・ PR 不足。地域ぐるみで首都圏での販促やイベント PR がない。旅行パンフをもっと利用すべきだ。
- ・ お客様への PR の部分。旅行会社としてもできる限りのご協力をさせていただきたいと思います。
- ・ 温泉街全体での“盛り上がり”を感じさせるイベントや施設。(高原荘跡地に期待します)
- ・ 売り出し方。鬼怒川・川治というより「〇〇な川治」「〇〇ができる川治」「川治で〇〇しよう！」的な PR が良いと思います。
- ・ 知名度。鬼怒川の影になりがち。PR。
- ・ 昔のままのイメージを引きずっているのでは、新しい川治温泉のイメージを伝える PR が不足しているのでは。

Q11. 今回のモニターツアーでご紹介した観光資源につきまして、利用価値のあるもの、及び利用方法、販売方法などについてのアドバイスをお聞かせください。

- ・ おなで石・カツラの大木・道祖神・足湯付き公園 (H22.3 月 OPEN)・薬師の湯
- ・ ケヤキの木・あじさい公園 (遊歩道)・黄金伝説 (南平山)・学校跡地・川治ダム
- ・ 五十里ダム・かわじい (キャラクター)・温泉 (湯)・水 (湧き水)

- ・ 学校跡地、川治ダム、温泉パイプ、野がん鉄道の高架橋など。目に訴えるものが多いので、そういったものを見せる工夫 (HP やチラシの使用) が要ると思う。
- ・ ① “大人の修学旅行” のようなものもいいのでは？ (40～50 代の仲良しグループが見学・休憩をするなど)。② 30～40 代の女性というのは、切り口次第だがやはりかなり工夫しないと厳しい。中途半端な食事で高い代金をとられるのには過敏！ ③ 温泉やぐら⇒本当に必要なものでない。(つくりものであれば作らない方がいい)
- ・ 鬼怒川、湯西川との区別と言うことでいえば、3 つのうち一番 “若い人向け” “アクティブ” を押し出しても良いかもしれない。
- ・ 学校跡地 (体験教室や、地元スイーツの制作体験の会場にする)
- ・ めぐり (道祖神＋足湯＋薬師の湯を巡ってスタンプを貯めると川治の物産品が当たる・・・など、町を歩かせることに使えそう。
- ・ 黄金伝説 (クイズラリーができそう)
- ・ “かわじい” にはビックリしました。ゆるキャラ選手権などにも出して欲しいで

す。かわじいにストーリーがあれば、お話いただいて絵本なんかも見たいかな。せっかくできたキャラクターなので、是非活用して欲しいです。

- 女性は特に“縁結び”などには弱いので、美人の湯に入り、運動をして、美味しいものを食べてさらに美しくなり、かわじいの縁結びお守りを買って帰るような…。
- 学校跡地については、CAFÉ や合宿などが無難かと思いますが、フィルムコミッションや期間限定で“川治映画祭”を開催しても面白いと思います。
- 散策コースを整備する。(歩いて町の中をまわれるように)最終地点を公園にして、そこで買い物できるようにする。MAP を作ってスタンプラリーにし、その MAP を持って来たら特典を出すように (飲食店)。
- とにかく“温泉”を全面に出した方が良い。(温泉の源泉を見れて、温泉についてうんちくをしゃべれるガイドツアーができると良い)
- ダムは観光客を呼べるが、その他 (観光資源) は、わざわざ来るかというところではないと思う。水のイベントができれば良いと思う。
- 体験メニューの 1泊2日のモデルコースをつくり、曜日限定でも個人対応をするべき。
- おなで石：それぞれを携帯で写メを撮ってフロントに行くと入浴できるとか、何かが割引になるとか設定して川治温泉の歴史を勉強してもらいつつ、お徳感も出していく。
- 薬師の湯：絶景なのでそういった所もPRしていく。
- かわじい：街中で旗での告知だけでなく、駅名スタンドや野岩車両の外壁にラッピング告知する。
- 学校跡地：花火の打ち上げ、ホテル、野外コンサート
- 川治ダム：ダムは 2 つもあるのだから、それぞれのツアーでは違いをアピールできる。観光放水の迫力も必要。
- 川治ダム：ガイド付ツアー。 かわじい：グッズ、食品、飲料水等の開発。 足湯付き公園：夕食後に女性でも安心して散策できる環境づくり、浴衣で歩ける、写真スポット。
- 学校跡地：夏休みを中心に搜索体験教室の実施。
- 足湯付き公園、ケヤキの木、あじさい公園、学校跡地、かわじい、水：毎週日曜日 10:00 頃集合し川治温泉の遊歩道を中心としたガイドツアーを実施する。解散地を足湯付き公園にして、そこで毎週バザーを開く。(JAやアートなど様々なお店を出店)そこで解散し、ショッピングを楽しんでもらう。その時ランチマップを配布し、マップを提示するとおまけの一品などの特典を付け、昼食を川治で食べてもらう。
- 学校跡地の利用について：木工や絵、陶芸家などのアトリエとして提供し、その条件として一般の人々の見学を可とさせ、日曜日は足湯付き公園からシャトルバスを出し、アクセスを整備する。また、木工職人にはケヤキを利用した新商品の開発を依頼する。
- かわじい (キャラクターの販促)：「かわじいのおいしい水」を製造し、各お店 (旅館) で販売する。また、キャラバンやギブアウェイとしてPR商品としても利用する。
- 遊歩道イベントの開催。川治をキャンドルで飾るイベントの開催。ちょうちんウォークイベントの開催。

- ・ 学校跡地、かわじい、水：学校跡地に関しては、ドラマなどの製作会社に資料を送るなど、建物の有効利用を是非考えていただきたい。
- ・ 川治の基本コンセプトを地区の皆さんが共有化することが大切。例えば旅館組合と飲食店組合、商店会やタクシー業界、それぞれ利害が異なる人々が共通のコンセプトで自分たちの業界でそれを展開していくことで、川治に訪れた方が気持ちよく帰ってもらえる。そのためのコンセプトは大切。各々の観光資源もそのコンセプトで媒体露出させることで効果大
- ・ 専門ガイドがいる、案内することを売りにできるといい。東武線&野岩鉄道とのタイアップ。
- ・ かわじい：生年月日などのプロフィールを固め、積極的に露出させる。
- ・ 道祖神だけのスタンプラリーでなく、温泉街の飲食店や物産店や湯めぐりも含めた複合型のスタンプラリーにした方が、参加者が増えるのでは。
- ・ 薬師の湯前にある源泉は人を呼べるのでは？システムの問題もあるかもしれないが、あの源泉はぬるいままでもいいので、薬師の湯定休日もかけ流しにした方がよい。
- ・ 廃校になる小学校校舎は、給食室が残っていて調理が可能であれば蕎麦打ちの体験道場のような体験学校としてそのまま利用すると面白いのでは？茨城県大子町に「大子おやき学校」という“おやき”を作る施設があるが、そこも廃校になった小学校の教室や給食室をそのまま利用して体験させている。テーブルも小学生の木製机をそのまま利用しているので、なんとも言えない懐かしい感じをそのまま上手く利用している事例だと思う。
- ・ 体育館は一部内装を変えてダンスホールとして活用してみては？宿泊（温泉）＋ダンスという組み合わせはニーズが高いので、ダンスホール目当てにリピーターが増える可能性も。
- ・ かわじいだけでなく、ファミリーのキャラクター化も追加すると面白いのでは？
- ・ 学校跡地、川治ダム、温泉（湯）、水：川治ダムの見学ツアー。学校跡地の利用法（例、ギャラリー、展示会場、体験プラン等）を踏まえ、エージェントの企画商品を目指す。

モニターツアーの感想

- ★今後の川治温泉の再生に向けて、貴重なご意見・アドバイスをたくさんいただきました。
- ★今回のいちばんの収穫は、川治温泉をPRしてくれる方や、お客さんと呼んでくれる方（企画・商品造成・販売・PR・情報発信）に、川治温泉の魅力を知っていただいたことだろうと思います。
- ★参加者全員の方が、参加前にもっていた川治温泉のイメージと参加後のイメージは随分違ったという意見をアンケートでもいただきました

■川治温泉のイメージの変化

静

参加前

- ・ 日光や鬼怒川よりも奥まっている温泉地
- ・ 湯量が豊富な温泉場
- ・ 川治温泉を訪れる目的は「湯治」
- ・ 小さい温泉場
- ・ 高齢者向きの落ち着いた温泉場

動

参加後

- ・ 遊歩道や足湯などのハード面及び料理などのソフト面の開発に熱心
- ・ レクリエーションができる場所も多く、健康志向の中年やファミリー層にも満足していただけそう
- ・ もともとの観光資源が多い（ダム含む）

旅行商品化に向けて

■ 今後の課題

プログラム

- **特徴の把握**

子供でも可能か？天候に左右されないか、季節はいつがベストかなど、プログラムの特徴を理解することにより、ニーズに適したプログラムの提供ができる。

- **テーマの設定**

各プログラムに、ストーリーをもたせ、カテゴライズしやすくすることにより、商品化もしやすくなる。

地元の協力

- **人材の確保**

プログラムを確実に催行できるよう、ガイドなどの人員を確保する。

- **まちのムードづくり**

各旅行者が非日常を経験できるよう、おもてなしムードを作る（統一デザインののぼり旗や、方言を使って話す伝ガイド、伝説を聞かせる語り部など）

採 算

- **適正な価格をつける**

少人数での催行になる可能性が高く採算が取りにくい面をクリアにする。（食べ物の作り置きは可能か？など）

付加価値をつける。

- **地域に経済効果**

各連泊させる、飲食店の利用、お土産品の購入などを勧め、地域にお金が落ちる仕組みを作る。

P R

- **旅行エージェントと組む**

商品化後として、川治の新商品を周知させるためにキャラバンで首都圏などをまわる。

- **テレビパブリシティの活用とWEBの充実**

新しいしい取り組みを、テレビパブリシティに出す。

情報をインターネットでさらに開示していく。

シンポジウムの報告

シンポジウムのねらい・特徴

①本プロジェクトの集大成としてお披露目すること

- 事業計画では、キックオフシンポジウムとして事業の最初におこなう予定でしたが、中身が決まらない中途半端な状態で開催するより、きちんと方向が定まってから開催した方が成果が大きいと判断し、事業の最後にもってきました。

②学校跡地利用に向けてのアクションを起こす

- 今年度で廃校となる地元の小・中学校跡地の保存・活用に向けて、先駆地域の事例発表を聞き、川治温泉での模索を図る。

シンポジウム 概要

【シンポジウム告知チラシ】



【スケジュール】

時 間	内 容
13:00～	開会・主催者挨拶 来賓挨拶(日光市長、国土交通省)
13:10～13:40	プロジェクト概要説明 (坂内)
13:40～14:10	特別講演 (関谷氏)
14:10～14:20	休憩
14:20～14:50	事例発表 ①星ふる学校くまの木 (遠藤氏) ②もう一つの美術館 (梶原氏) ③太子おやき学校 (小泉氏)
14:50	パネルディスカッション
15:40	質疑応答
16:00	閉会の挨拶(川治温泉観光協会長)

【目的】 本プロジェクトの集大成として、現在までの取り組みを報告し、新しい川治温泉の魅力を発信するとともに、今後の方向性を市民全員で共有し、持続可能な魅力ある温泉地を築くことを目的とする。

【実施日】 2010年2月15日(月) 【時 間】 13:00～16:00

【会 場】 川治温泉 元湯の宿 らんりょう

【参加者】 71名 内訳:地元住民3割、旅行エージェンツ2割、行政関係者2割、報道関係者2割、一般参加者(地元以外)1割

【事業評価】 平日開催にもかかわらず、たくさんの方にご参加いただき、注目度の高さを肌で感じた。

今後の展開

- 4月よりノルディックウォーキングプログラムをスタート
- 4月からお茶のおもてなしスタート
- 5月から川治ダム湖でのカヤック体験をスタート
(調整中)
- 川治ふれあい公園隣に、川治温泉の情報発信基地として『かわじい ふるさとの駅』OPEN！
- 本事業終了後も、観光協会を中心に“道祖神めぐり”の開発を継続する

自己評価および反省点

■評価できること

- 地域が抱える問題を共有し、足並みが揃ったこと。
- 短い期間で事業を遂行できたこと。
- 地域の協力体制。
- たくさんのメディアに取り上げられたこと。
- 体験プログラムが商品化できたこと。

■反省点

- 過密な計画(スケジュール)を立てたこと。
- 計画通りに事業を進められなかったこと。
- 目標達成率が80%程度だったこと。

新メニュー、お味は

緑日で料理長ら力作披露 川治温泉

【日光】川治温泉恒例の「ふれあい秋の緑日」が12日、葉山の湯った新商品を開場者が試食した。

日光温泉「水のあるさ」といきいき発見プロジェクト協議会が開発した料理の新メニューなどが披露された。同協議会は国土交通省の指定を受け、活性化に取り組んでいる。今回が具体的事業の第1弾で、旅館・ホテルの料理長が新メニューを、飲食店が新商品の開発に当たってきた。

材料も地元産にこだわった豆乳チーズケーキ、抹茶パバロア、ハヤシの栗餅など新メニューと、ホウレンソウを使った皮が緑色の

肉まん、皮が黄色いカボチャまんじゅうといった新商品を開場者が試食した。

アンケートを基に玉商品化を目指す。東

京の仮屋。智恵子さん（62）は「抹茶パバロアがおもしろかった。商品化してほしいです」と話していた。また会場周辺ではノルディックウォーキングの指導者講習会も開かれた。



人気を集めた新メニューの試食

独自の地域再生へ

モニターツアーで商品づくり

栃木県 川治温泉

景気の低迷に続いた旧足利銀行の倒産の後、鬼怒川・川治温泉（栃木県）ばかりでなく周辺の観光・温泉地はなお宿泊客が大幅に減少しているが、川治温泉（川治温泉旅館協同組合・船曳組合長、9軒で民泊20軒）は温泉地ぐるみで、川治温泉を売り込むために、料理も地産地消のメニューを作るなど、もう一度、川治温泉独自の地域再生へ取り組んでいる。

温泉独自の「みどころや良さを発見し、来春の企画商品づくりに役立てたい」という趣向で11月11日から1泊2日の初のモニターツアーを実施する。主催は川治温泉「水のふるさと」いきいき発見プロジェクト協議会。「この機会に水辺を中心に川治の新しい旅や川治温泉、そして川治の旅をみるなど、もう一度、川治温泉独自の地域再生へ取り組んでいる」と期待する。

川治温泉は、すでに20数年前から全旅館共通の「湯めぐり」（無料だったが、今は800円）や朝市で知られており、温泉地の中心に足湯も近くオープンするなど再生への努力を続けている。鬼怒川温泉と共同の集客はともかく独自の展開も欠かせないとして、このツアーで春の商品づくりを図ろうというもので、とくにJTBなど大手の旅行業に参加してもらい意見を集約したいとしている。地元の下野新聞やNHK宇都宮支局、栃木テレビなどにも呼びかけている。

全国の温泉地は地域の共同宣伝を積極的に実施しているが、ひとつの温泉地だけの試みとして注目されそうだ。

日光そばまつり
県外産地も出店
今月31日から
栃木県日光市で31日、11月3日、日光そばまつり

2009.11.13下野新聞

川治ダム湖に遊ぶ

観光モニター カヌー体験



ダム湖でカヌーを体験する参加者

【日光】国土交通省の指定で活性化に取り組み川治温泉「水のふ」実施したモニターツアー

「日光」国土交通省の指定で活性化に取り組み川治温泉「水のふ」実施したモニターツアー

参加者の男性は「最初は少し怖かったが、

12日、参加した旅行社関係者らが川治ダムでカヤックカヌーリングを体験した。ツアーは11日からの2日間で、参加者の意見を参考に各プログラムの商品化を目指す。川治ダム湖でカヌーが行われるのは初めて。参加者はライフジャケットを着用し次々と湖上へ。たどたどしかったパドルの扱いも次第にスムーズになり、

2009.11.28観光経済新聞

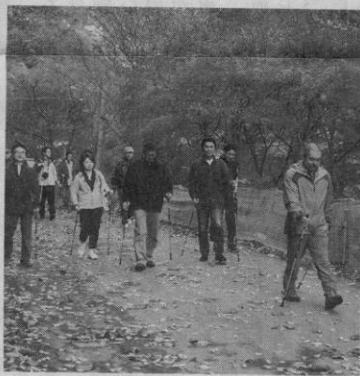
次第に慣れてきました」と話していた。

栃木県日光市・川治温泉

栃木県日光市の川治温泉は現在、温泉街の新しい魅力づくりを進めている。川治、五十里（かり）両ダム湖とその下流域が持つ「水のふ」としてのイメージや、温泉、自然などの自然資源に着目。日光市の遊歩道整備などのハード整備に合わせ、旅館組合らが自然体験やヘルスツーリズムに関するメニューの開発などソフト面の整備を進めている。

自然体験や健康観光 着々とメニュー整備

モニターツアーで課題も検証



ノルディックウォークの体験



新しく開発した、湯葉あんをかけた「深山御飯」

「新たな魅力」を商品化

1について、商品化のための意見を求めた。

モニターツアーで参加者は、ボールを付けて温泉街を流れる男鹿川沿いの遊歩道を散策し、上平身のエクササイズにも効果があるといふノルディックウォークの運動効果を体感したほか、川や周辺の紅葉の眺めから得られる「癒し効果」についても検証。川治ダムのダム湖で

一連の取り組みは、国土交通省の「水源地域活性化モデル事業」を活用したもの。旅館組合を中心に立ち上げた「川治温泉「水のふ」」いきいき発見推進協議会」が中心となり自然体験プログラムの開発などを進めている。このうちノルディックウォークについては栃木県内で初めて、本格的な導入に向け取り組みを開始。新たな誘客の力ぎとして指導者養成講習の実施やウォーキングコースの整備を進めている。

参加者からは、「周辺の鬼怒川、湯西川の両温泉にはない薬を使ったオリジナルの食メニューしみがあろう」「温泉街の中心通り沿いとは違う、「男鹿川側」の魅力を感じた」との意見のほか、「個別のメニューは魅力的だが、これらをどのようにつなげていくのかが工夫が必要」「豊富な温泉をもっと生かしたほうが良い」などのアドバイスが出た。

【小林茉莉】

2010.2.1旬刊旅行新聞

15日にシンポ開く 川治温泉の活性化に向けて

栃木県の川治温泉は、「とくいきいき発見プロジェクト」の集大成として、2月15日、「魅力ある温泉地づくり」シンポジウムを開く。会場は元湯の宿らりりよつて。午後1時から。参加無料。シンポジウムではプロジェクトの今後の展開などのほか、廃校活用事例発表（①星谷小学校・まの木・塩谷町）②もつひの美術館・那珂川町）③大子おやき学校・茨城県大子町）も行う。

特別講演は関谷忠一大声川自然クラブ代表・とちぎ自然塾長の「川での体験と観光」。パネルディスカッションは観光・地域活性化コンサルタントの佐藤孝俊氏をコーディネーターに、「自然を活かした魅力ある温泉地づくりと学校の活用について」論議。パネラーは船曳富士男（川治温泉旅館組合）、坂内剛至（ネイチャーフロンティア代表）、藤井弘子（フーディ&アート・アドバイザ）、遠藤正久（星谷小学校・まの木、関谷忠一の各氏を予定）。

川治温泉は昨年秋に体験プログラムや地産地消メニューの開発、モニターツアーなどを実施している。日光市は地域再生計画に基づき、活力ある川治温泉の復活を目指す。

問い合わせは事務局 0288・7811

特別講演は関谷忠一大声川自然クラブ代表・とちぎ自然塾長の「川での体験と観光」。パネルディスカッションは観光・地域活性化コンサルタントの佐藤孝俊氏をコーディネーターに、「自然を活かした魅力ある温泉地づくりと学校の活用について」論議。パネラーは船曳富士男（川治温泉旅館組合）、坂内剛至（ネイチャーフロンティア代表）、藤井弘子（フーディ&アート・アドバイザ）、遠藤正久（星谷小学校・まの木、関谷忠一の各氏を予定）。

川治温泉は昨年秋に体験プログラムや地産地消メニューの開発、モニターツアーなどを実施している。日光市は地域再生計画に基づき、活力ある川治温泉の復活を目指す。

問い合わせは事務局 0288・7811

2010.2.4下野新聞

日光の国交省指定プロジェクト 15日に集大成のシンポ

川治温泉活性化へ準備完了

【日光 国土交通省の指定を受け、昨秋から地活性化に取り組んでいる川治温泉「水ふるさと」いきいき発見推進協議会は、15日事業の集大成となるシンポジウムを開く。旅行業者を招いたモニターツアーでは、早期商品化を望む声も出され、4月からアウトドアの企画を展開する予定。シンポでは本年度で廃校となる川治小中の有効活用も模索する。（江田和宏）

加者からは「良いものがたくさんある」「チェックイン後の時間など好意的な意見が利用したフルディッ

寄せられる一方、「短クウォーキングを開かれていない」「PR始。早ければ連休前にも川治ダム湖でのカヌー体験実現も目指す。豆乳ハバロアなど新メニューは効果的な販売方法を検討する。

シンポでは大子川自然クラブ代表の関谷忠一さん（59）が特別講演。県内外の廃校活用事例発表のほか、関係者によるパネルディスカッションを通して、自然を活かした温泉地づくりと学校の活用について考える。

「今後の川治は変わっていくことをPRしたい」と事務局。シンポは午後1時から元湯の宿らりりよつて。無料。

問い合わせは事務局 0288・7811

県北・日光版

大田原市 那須塩原市 矢板市 日光市 那須烏山市 那須町 那珂川

総支局の電話・FAX番号

大田原総局 0287・201023 FAX 201024

日光総局 0288・301023 FAX 301024

日光支局 0288・501023 FAX 501024

那須塩原支 0287・201023 FAX 201024

矢板支 0288・301023 FAX 301024

那須烏山支 0288・501023 FAX 501024

那須野支 0288・7811

13版



川治温泉でノルディック

宿泊客の減少を食い止める、温泉地としての再生を目指すという日光市の川治温泉の旅館組合などは新年度から、スキーストックに似たポールを両手に持つて野山や街中を歩く「ノルディックウォーキング」写真Ⅱの体験や地産地消メニューの提供など、地域の資源を活用した活性化に取り組む。

川治温泉は年間宿泊客数が2003年には30万人を

突破したが、04年以降は減少が続く。一時期は25万人台まで落ち込んだ。このため旅館組合などが中心となり活性化策を練ってきた。

ノルディックウォーキングは、足腰への負担が軽く、健康増進につながると、中高年を中心に愛好者が増えている。昨年10月に川治温泉周辺の自然に親しむ5ギコースで体験会を行い、好評だったため、活性化の柱とした。4月からは1日

2回のツアーを実施する。また、地産地消のメニューは、旅館組合と飲食店組合が開発を担当。8種類の中から試食会で人気の高かった「豆乳チーズケーキ」や、ほうれん草を練り込んだ生地、肉まんの具を包んだ「田舎まんじゅう」など。

川治温泉旅館組合の船曳富士男組合長は「自然体験などをキーワードに様々な事業を進め、観光客を取り戻したい」と話している。

下野新聞

魅力ある温泉地を

日光・川治温泉いきいき推進協議会

廃校舎の活用など模索

【日光】国土交通省の指定を受け地位活性化に取り組む川治温泉「水のふるさと」いきいき発見推進協議会は15日、元湯の宿「らんりょう」で、「魅力のある温泉地づくり」シンポジウムを開いた。

協議会は昨秋以降、自然を生かした体験プログラムや食の地産地消メニュー開発などに取り組んでいる。国の事業は単年度で終わるため、シンポはその集大成と位置付けた。協議会事務局の坂内

本年度で廃校となる川治小中の校舎の活用方法についても模索。塩谷町の星ふる学校くまの木、那珂川町のもうひとつの美術館、茨城県大子町の太子おやき学校の事例が発表された。

坂内さんと関谷さんら5人によるパネルディスカッションでは「校庭にハーブを植えアロマオイルを作る」「初心者のキャンプ体験」「4棟の校舎を異



魅力ある温泉地づくりについて考えたシンポジウム

なった使い方活用し「は」などの意見が上

(江田和宏)

栃木県日光市の鬼怒川温泉は知られていても、そこから車で15分ほど鬼怒川をさかのぼった川治温泉の知名度は低い。鬼怒川・川治温泉観光協会として連携していても、旅館の数や規模の違いもあってか、埋没しがちな感が否めない。

それでも川治温泉は古くは会津西街道を行き来する旅人や湯治客でにぎわった歴史を持つという。だから今も地元の人はお湯には自信を持っている。

今月15日、川治の温泉宿で「魅力ある温泉地づくり」シンポジウムが開かれた。近くを流れる鬼怒川や、川をせき止めてきたダム湖は



こだま

溪流釣りのメッカ。緑豊かな森林にも囲まれている。シンポでは、それまで無視してきた水や自然を観光資源に活かし、川治を「ヘルスツーリズム」の拠点とし、画がシンポでは飛び出して再生させようと地元関係者



シンポでは様々な企画が飛び出した

川治温泉振興、若者が原動力

者が企画した。

良質なお湯、地元の食材で作った「豆乳チーズケーキ」など、美容とグルメで30〜40代の女性を引きつける「びゅーていふるさと」戦略でPRする作戦。ダム見学やダム湖を利用した力ヤック体験や周囲の山林を探索するノルディックウォークなどを提供する会社を営む。母校の小中学校は近

シンポの仕掛け人は、川治温泉の水のふるさといきいき発見推進協議会の事務局役を担った地元出身の坂内剛至さん(35)。川治温泉を拠点に自然体験プログラムなどを提供する会社を営む。母校の小中学校は近

客(現在年間約30万人)の減少も頭が痛い。だが、地域を変える原動力の一つは「若者」。4月からは観光客らに地元のうまい水でいれたお茶のサービスも始めるという。春にまた川治を訪ねてみた

(宇都宮支局長 堀威彦)

栃木

シンポジウム開く

魅力ある温泉地を

川治温泉いきいき発見推進協



昨年8月に国土交通省の指定を受け、地域活性化事業に取り組んでいる

栃木県・川治温泉の水のふるさといきいき発見推進協議会は2月15日、川治温泉で「魅力ある温泉地づくり」シンポジウムを開いた。協議会は昨秋以降、川治の自然を生かした体験プログラムや地産地消をテーマとした新しい食のメニュー開発などに取り組んできた。同推進協議会長の船曳軍十男川治温泉旅館組合長の開会あいさつの後、斎藤文夫日光市長、国土交通省の添谷稔水資源部水資源地域対策課長補佐が来賓あいさつ。続いて協議会事務局の坂内剛至さんが同プロジェクト事業について説明。これまで取り組んできた体験プログラム開発（人材育成）部会、食のメニュー開発部会、まち歩き＆おもてなし部会の活動内容と今後の展開について報告した。

大芦川自然クラブ代表の関谷忠一さんが「川での体験と観光」をテーマに特別講演。「水と一緒の人が愉しめ、共存共生していけることが大事」と語った。また本年度で廃校になる川治小中学校の校舎活用について、栃木県塩谷町の「星ふる学校くまの木」、同那珂川町の「もうひとつの美術館」、茨城県大子町の「大子おやき学校」が事例発表した。

シンポジウム後半は、船曳協議会長や坂内さん、関谷さんら5人がパネルディスカッション。自然を生かした魅力ある温泉地づくりと廃校の活用について議論。「校庭にハーブを植えてオリジナルのアロマオイルを作る」「初心者向けのキャンプ体験の場として利用する」「4棟に分かれている校舎の構造を生かし、それぞれ異なる使い方をしてみたら、多くの意見が交わされた」

今後の展開

プロジェクトの今後の展開は、4月からノルディックウォーキングのプログラムをスタート。期間は11月末まで毎日開き、早朝散歩（1時間30分）、レギュラーコース（2時間）の2コースを用意。参加料金は早朝散歩500円（4・5月オ

が含まれる。グループ・団体参加の場合はコースのオーダーメイドも可能。

5月からは川治ダム湖でのカヤック体験と早朝カヌー散策をプログラムに追加する。カヤック体験は11月下旬まで、早朝カヌー散策は10月下旬まで（8月1日から29日まで除く）。料金は調整中。

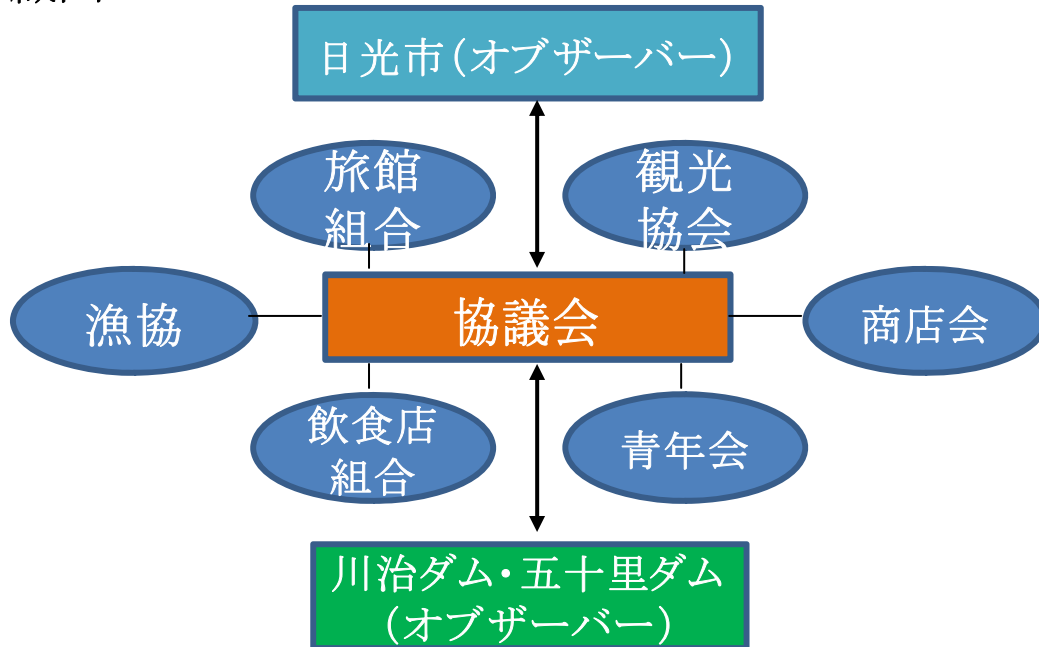
料金は、6月以降は800円、レギュラーコース1千円、早朝散歩＋レギュラーコース1500円。料金には講習料・ポイントレンタル料・保険料オープンする。3月中旬

温泉街の中心に位置する「川治ふれあい公園」隣接地に、川治温泉の情報発信基地として「かわじい・ふるさとの駅」がオープンする。3月中旬

には足湯も完成予定という。国の事業は単年度で終わるが、終了後も観光協会を中心に、温泉街のまち歩き活性化策のひとつ「道祖神めぐり」スタンブラリーの開発を継続して取り組む考えだ。

<資 料>

組織図



役員名簿

役 職	氏 名	所 属 ・ 役 職
会 長	船曳 富士男	川治温泉旅館組合 組合長
副会長	船曳 寿男	川治地区活性化推進協議会 会長
〃	山越 一治	川治地区ダム対策協議会 会長
監 事	内田 晃	川治商店会 会長
〃	関本 昭	川治飲食店組合 組合長
役 員	八木澤 栄	川治温泉観光協会 会長
〃	石山 成典	おじか・きぬ漁業組合 組合長
〃	横田 邦壽	川治温泉新興旅館組合 組合長
〃	白井 雅之	おじか・きぬ漁業組合川治支部 支部長
〃	田中 祐一	川治振興青年会 会長
〃	斉藤 隆久	ダムダムミュージアム実行委員会 会長
事務局・会計	坂内 剛至	川治温泉観光協会・旅館組合 事務局長
オブザーバー		日光市観光交流課
〃		国土交通省川治ダム管理支所
〃		国土交通省五十里ダム管理支所

川治温泉“水のふるさと”いきいき発見推進協議会 規約

第1章 総則

(名 称)

第1条 本会は、川治温泉“水のふるさと”いきいき発見推進協議会（以下「協議会」という。）と称する。

(目 的)

第2条 本協議会は、川治温泉の協会・団体、個人、事業者、行政が協力連携し、地域活性化のための施策を総合的に推進することにより、活力ある地域社会の形成を図り、もって川治温泉の振興・発展及び地域住民の生活の向上に寄与することを目的とする。

(事 業)

第3条 協議会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

1. “水のふるさと”いきいき発見プロジェクト
2. 体験・滞在型のプログラム開発及び人材の育成
3. 下流地域次世代家族対象モニターツアー
4. 前号各号に定める事業のほか、目的達成に必要な事業

(組 織)

第4条 協議会は、川治温泉の各団体（観光協会・旅館組合・振興旅館組合・商店会・飲食店組合・漁業協同組合・振興青年会など）から選出された委員と日光市観光交流課及びオブザーバー（川治ダム管理支所長・五十里ダム管理支所長）をもって組織する。

(構 成)

第5条 協議会は、役員会と事業部会（ワーキンググループ）にて構成される。

(役 員)

第6条 協議会に次の役員を置く。

- | | |
|--------------------|-----|
| 1. 会 長 | 1 名 |
| 2. 副会長 | 2 名 |
| 3. 会 計 | 1 名 |
| 4. 部会長（プロジェクトリーダー） | 若干名 |
| 5. 監 事 | 若干名 |
| 6. オブザーバー | 若干名 |

(役員の仕事)

第7条 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

2. 副会長は、会長を補佐し、会長に事故のあったときはその職務を代行する。
3. 会計は、協議会の会計を掌り、決算を行う。
4. 部会長は、各部会（プロジェクト）の責任者となり、業務を遂行する。
5. 監事は、業務及び財産状況を監査する。
6. オブザーバーは、専門的かつ、第三者的な立場で助言や意見をいう。

(事務局)

第8条 協議会は、事務局を栃木県日光市川治温泉高原42に置く。

2. 事務局は、協議会の事務処理を総括する。

第2章 会議

(会議の開催及び召集)

第9条 協議会の会議は、総会・役員会・事業部会がある。

2. 総会及び役員会議は、会長が召集する。
3. 事業部会は、部会長が招集する。
4. 会議を招集する場合には、開催1週間前までに議案を付して委員に通知する。

(会議の議決)

第10条 会議の議決は、出席者の過半数で決し、可否同数の場合は議長の決するところによる。

(議案の提出)

第11条 議案の提出方法は、第5条に規定する会ごとに定める。

第3章 その他

(経費)

第12条 事業の運営に要する経費は、補助金、寄付金およびその他の収入をもって充てる。

(事業収益)

第13条 事業から生じた収益は、この会が行う活動の運営費に充てなければならない。

(委任)

第14条 この規約に定めのない事項については、会議に諮り会長が定める。

付 則

(施行期日)

この規約は、平成21年6月1日から施行する。

- 川治温泉の“旅”が変わります。 -

『秋の川治の水辺と紅葉をめぐる モニターツアー』参加者募集

川治温泉 “水のふるさと” いきいき発見プロジェクト協議会（所在地：栃木県日光市川治温泉 会長：船曳富士男）は、平成 21 年度国土交通省水源地活性化モデル事業の一環として “秋の川治の水辺と紅葉をめぐる” モニターツアーを平成 21 年 11 月 11 日(水)～12 日(木) に開催致します。本ツアーは「びゅーていふるさと。川治温泉」をコンセプトに、30 代～40 代の女性をコアターゲットとしたこれまでにない新しい展開も視野に入れており、ご参加いただく皆様のご意見を反映させ、本格的な旅行商品化を目指します。

■イベント内容

1. 紅葉を楽しみながらノルディックウォーキング
2. 落ち葉のしおりづくり体験又は、パステルアート体験
3. 試食会（旅館・ホテルの料理長や飲食店組合のワーキンググループが地元の食材を使い考案したメニューの試食）
4. 星空観察会 ※希望者のみ
5. 川治ダム湖で紅葉を眺めながらカヌーツーリング及びダム見学

■開催日：平成 21 年 11 月 11 日（水）～12 日（木）1 泊 2 日

■集合場所・時間：川治温泉 宿屋伝七（栃木県日光市川治温泉 22 番地）13:00

■宿泊先：宿屋伝七

■募集人数：20 名

■対象者：旅行エージェント様・行政関係者様・報道関係者様

■参加費用：無料 ※但し、現地までの交通費はご負担ください。

■川治温泉 “水のふるさと” いきいき発見プロジェクト協議会

【川治温泉 “水のふるさと” いきいき発見プロジェクト協議会とは】

平成 21 年度国土交通省水源地活性化モデル事業の指定を受けて発足した組織で、観光協会・旅館組合・飲食店組合・商店会の役員で構成されています。

【本件の連絡先】

川治温泉旅館組合事務局

担当者：坂内剛至（さかうちたかし）

Tel 0288-78-1177 Fax 0288-78-1178

e-mail kawajispa@gmail.com URL <http://ameblo.jp/kawaji-project/>

〒321-2612 栃木県日光市川治温泉高原 42（有限会社ネイチャープラネット内）

【川治温泉“水のふるさと”いきいき発見プロジェクト】 モニターツアー

平成21年11月

ツアーの目的・趣旨

現在、川治温泉では、長引く景気低迷の影響により、宿泊者数は年々減少傾向にあり、同時に地域の過疎化や高齢化が進んでおります。川治温泉は、五十里ダムと川治ダムの2つの大きなダムを有する全国でもたいへん珍しい温泉地であり、鬼怒川の支流である男鹿川が温泉街の中心を流れる水と溪谷の自然豊かな環境にあります。また、古くから会津西街道を往き来する旅人や湯治場として開けた温泉地であり、温泉旅館を中心とした小さな地区であることから、温泉地の再生を賭けて、地域が一体となった取り組みを行うべく、旅館組合が中心となり協議会を立ち上げ、国土交通省が公募した『平成 21 年度水源地域活性化調査』の企画公募に際し、企画書を提出したところ、全国で3件のうちの一つに採択されました。

現在、日光市では地域再生計画に基づき、活力ある川治温泉の復活を目指し、男鹿川の遊歩道整備や、薬師の湯リニューアル、温泉街の中心地（高原荘跡地）に、足湯付の公園を整備するなど、様々なハード整備事業をおこなっております。

今後、川治温泉が新たな観光客の誘致を図り、温泉地の再生につなげていくためには、これらのハード面及び2つのダムを地域に擁する特性を活かし、水源地の豊富な資源（河川や湖、森などの自然、湯量豊富な温泉など）を活用し、“水のふるさと”としてのナチュラルイメージを確立することが最重要課題であると考え、本プロジェクトにおいて“自然体験”“健康”“地産地消”“おもてなし”をキーワードに様々なソフトの開発を進めて参りました。

今回のモニターツアーでは、多方面の方々にご参加いただき、本プロジェクトで開発された自然体験（エコツアー）プログラムや、地元産食材を使用して作られた食のメニューならびに、川治温泉で現在整備中の観光資源や既存のものを見ていただき、各々の視点に基づいたご意見を賜り、商品化を進めて行きたいと考えております。

皆様方におかれましては、生の目で見聞きしていただき、実際にお感じになられたところを忌憚なきご意見としてお聞かせ願えれば幸いと存じます。

<川治温泉“水のふるさと”いきいき発見プロジェクト>

目 標 : 川治温泉地域における観光振興・地域振興を推進するために、地域の有する観光資源を利用した体験プログラムや食事メニューを開発し、商品化させる。

実施団体 : 川治温泉“水のふるさと”いきいき発見推進協議会

協力団体 : 川治温泉旅館組合、川治温泉観光協会、川治商店会、川治飲食店組合、川治振興青年会、おじかきぬ漁業協同組合川治支部、川治活性化推進協議会

取組内容

<今日までの取組>

取組①「ダム湖や河川を活用した体験プログラムの開発」

部会：体験プログラム開発部会

内容：河川及び川治ダム・五十里ダム湖における体験プログラムを開発する。

9月10日(木) キャニオニングフィールド調査

- ・大下沢（鬼怒川合流～砂防ダム）およそ500m区間
- ・川治ダム直下～男鹿川合流およそ1km
- ・稲ヶ沢（鬼怒川合流より上流1km）

9月24日(木) カヌーフィールド調査

- ・五十里ダム湖
- ・川治ダム湖

取組②「ノルディックウォーキングプログラムの開発」

部会：体験プログラム開発部会

内容：県内でいち早くノルディックウォーキングの導入に向けた取り組みを実施するため、人材（指導者）育成と、プログラム・コースを開発する。

10月9日(金) フィールド調査（川治地区内一周）

10月12日(月) 指導者養成講習 参加者20名

10月30日(金) 指導者養成講習 参加者17名

10月31日(土) ノルディックウォーキング体験会 参加者14名

取組③「まちの回遊性向上」

部会：まちの回遊（おもてなし）部会

内容：～川治の水でおもてなし～ をテーマに、温泉街のお店10店舗を目標に、店頭でお客様にお茶を出して（無料）、会話＝交流を楽しんでもらう、“お茶いっぱい”プロジェクトを推進中。店頭には“かわじい”のイラストが入った旗を掛ける。

取組④「地産地消食事メニュー開発」

部会：地産地消メニュー開発部会（旅館組合ワーキンググループ）

内容：地域の食材を使った食事メニューの開発

宿屋伝七、東山閣、ゆけむりの里柏屋 3軒の料理長が考案したメニュー

を10月12日の“秋の縁日”に出品し、試食会（アンケート調査）を実施。

取組⑤「地産地消B級グルメ商品開発」

部会：地産地消メニュー開発部会（飲食店組合ワーキンググループ）

内容：地域の食材を使ったB級グルメ商品の開発

おからドーナツ、3色田舎まんじゅう【日光産とちひとみ(苺)-茶色、日光産ほうれん草(肉まん風)-緑色、かぼちゃ(つぶあん)-黄色】

こちらも10月12日の“秋の縁日”に出品し、試食会（アンケート調査）を実施。

取組⑥「モニターツアーの実施」

開催日：11月11日（水）～12日（木）1泊2日

内容：今回は新しい展開として、「びゅーていふるさと。川治温泉」をコンセプトに、30代～40代の女性をコアターゲットとした旅行商品の造成をおこない、モニターツアーで多くのご意見をいただいて、本格的な商品化を目指します。

＜今後の取組＞

取組⑦「シンポジウムの開催」

開催日：12月中旬

内容：第1部では、モニターツアーまでの成果発表と、これから新しく、大きく変わる川治温泉のキャッチコピーのお披露目（情報発信）。

第2部では、今年度で廃校となる学校跡地(校舎)の活用について、先進地の事例発表やアドバイザーを招いてのシンポジウムを行う。

今回のモニターツアーでご試食いただくもの

今回のモニターツアーでご試食いただくものは、今回のプロジェクトにおいて、川治温泉のホテル・旅館のワーキンググループと、飲食店組合のワーキンググループで、それぞれ地元食材を使った新メニュー(商品)の開発をおこない、10/12におこなわれた『ふれあい秋の縁日』のイベントにおいてモニタリング試食会をおこなった際に、人気のあったものを提供させていただきます。

●川治の豆乳チーズケーキ（アンケートによる人気No.1）

材料：川治の水で作った豆乳、おからパウダー、クリスタルゼリー



●豆乳のババロア

材料:とちひとみ(苺)、豆乳、那須御用卵、ゼラチン、グラニュー糖、生クリーム



一口メモ : 豆乳は川治の美味しい水と厳選された大豆と長年培われた技術により、健康飲料としても、地元の人に愛飲されています。とちひとみを通年使用できるように、春先に採ったものを丁寧に一粒ごとに冷凍してから真空パックに入れて多目的に使用しています。那須の御用卵は自然の中で放し飼いされ、漢方の独特な飼料で飼育された鳥の卵です。

●ハタマス雲鍋

材料:日光(土呂部)産ヤシオマス、高原大根、人参、平茸、なめこ茸、木耳、牛蒡、わけぎ



●深山御飯

材料:舞茸、しめじ、銀杏、牛蒡、たたき生湯波茗荷っ子、山葵、鼈甲飴

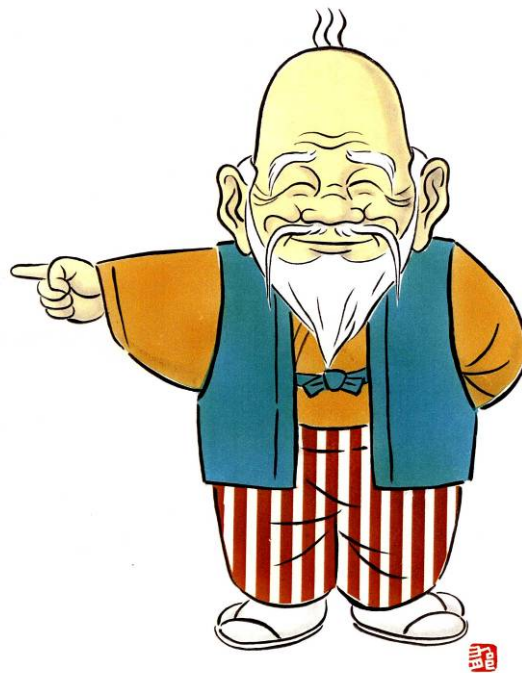


一口メモ : 京都の湯葉と日光の湯波との違いは、豆乳を煮詰めて表面の膜を一枚で引き上げた薄めのものが京都の湯葉で、二つ折にして厚めに引き上げるのが日光湯波です。湯葉と湯波で漢字も違います。山葵は日光藤原の釈迦ヶ岳の清らかな水で育ち、茗荷っ子は日光三依の名産です。

●ほうれん草まんじゅう



一口メモ : 日光産ほうれん草を生地に練り込み、肉まんの具を包んだ栄養満点のB級グルメ!



平成 21 年度国土交通省水源地活性化調査事業
川治温泉“水のふるさと”いきいき発見プロジェクト 事業報告書

発行：2010年3月

編集制作：坂内剛至

発行者：川治温泉旅館組合事務局

〒321-2612 栃木県日光市川治温泉高原42

(有限会社ネイチャープラネット内)

TEL：0288-78-1177 FAX：0288-78-1178

E-mail：kawajispa@gmail.com

URL：http://www.kawaji-onsen.org